

事業番号	09 04 08	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	家畜衛生対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課		
		実施期間	S25 ~	E-mail	kachiku-boeki @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

日本国内において、家畜伝染病である豚熱及び高病原性鳥インフルエンザの発生が続いている。
また、中国や韓国等の近隣国では口蹄疫やアフリカ豚熱が発生しており、国内への侵入リスクが高まっている状況である。
このため、感染状況の監視や飼養衛生管理基準の遵守を徹底する等により、疾病の発生予防及びまん延防止を図る必要がある。

2 事業目的

家畜伝染病の発生予防及び危機管理体制の強化並びに畜産物の安全性の確保推進等により、安全な畜産物の安定供給を図る。

3 事業目的を達成するための取組

① 伝染性疾病の発生予防及びまん延防止

- ・監視伝染病の検査を実施（鳥インフルエンザのモニタリング検査等）
- ・家畜防疫員による飼養衛生管理基準遵守状況確認のための農場立入検査



鳥インフルエンザのモニタリング検査

② 家畜伝染病発生時を想定した危機管理体制の強化

- ・防疫演習の実施
- ・現状課題となっている埋却候補地の確保を推進

③ 豚熱対策の実施

- ・飼養豚等へのワクチン接種
- ・免疫付与状況等確認検査を実施
- ・飼養衛生管理基準の遵守指導
- ・野生いのししへの豚熱対策を実施（感染状況確認検査、経口ワクチンの散布）



豚熱ワクチン接種

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	6疾病の監視伝染病検査実施率	%	100	100	→	100	→	100	達成	家畜伝染病予防法に基づき伝染病のまん延防止のため設定。	
②	防疫演習の参加事業者数	団体	0	10	↗	10	→	10	達成	緊急時の迅速な対応を可能とするため、家畜伝染病発生時に協力を依頼する全協定団体の参加を目標とする。	
③	飼養豚等への豚熱ワクチン接種率	%	100	100	→	100	→	100	達成	豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき、飼養豚等への豚熱感染を予防するため、接種対象を全ての飼養豚等に設定。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上										

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	278,961	△ 7,306	271,655	116,169	121,831	62.8
R4年度	0	175,252	△ 9,115	166,137	59,089	146,322	62.8
R3年度	0	194,131	△ 30,468	163,663	54,889	136,081	63.2

事業番号	09 04 08	事業改善シート（令和5年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	家畜衛生対策事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課		

7 主な取組実績と成果

① 伝染性疾病の発生予防及びまん延防止

- ・鳥インフルエンザのモニタリング検査の対象鶏について検査を実施し、県内への侵入状況を監視した（延べ204戸2,040羽全て陰性）。
- ・家畜防疫員による農場立入検査を643戸で実施し、飼養衛生管理基準の遵守状況の確認と指導を行い、家畜伝染病の発生予防を図った。

② 家畜伝染病発生時を想定した危機管理体制の強化

- ・防疫演習を実施し、家畜伝染病の発生時の対応を確認した。



防疫演習

③ 豚熱対策の実施

- ・全ての飼養豚等（延べ114,265頭）へ豚熱ワクチンを接種した。また、ワクチン接種豚の免疫付与状況等確認検査により抗体陽性率80%以上（前期84.2%、後期82.6%）を確認し、豚熱の発生予防が図られた。
- ・野生いのししの感染確認検査（検査頭数946頭、陽性25頭）を行い、感染状況の監視を強化した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	6疾病の監視伝染病検査実施率	R4年度推移	→	R5年度推移	→	達成状況	達成
計画的に対象とする全ての農場で該当の監視伝染病検査を実施した。							
指標②	防疫演習の参加事業者数	R4年度推移	↗	R5年度推移	→	達成状況	達成
家畜伝染病発生時に協力を依頼する協定団体各々に対し、有事の想定スケジュールに基づき、具体的な連絡・対応内容を確認し、全協定団体と個別防疫演習を実施した。							
指標③	飼養豚等への豚熱ワクチン接種率	R4年度推移	→	R5年度推移	→	達成状況	達成
計画的に全ての飼養豚等への豚熱ワクチン接種を実施した。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・令和5年度は県内において特定家畜伝染病の発生は無かった。一方で、近隣県での発生が見られることから、引き続き発生予防対策の強化が必要である。
- ・実際の家畜伝染病発生時には、防疫作業者動員のための県下全域の連携と、現地における防疫作業が行われるため、これを想定した防疫演習が必要である。
- ・豚熱の発生を未然に防ぐため、ワクチン接種を効率的に進めていく必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・農場への飼養衛生管理基準の遵守指導等、引き続き発生予防対策を実施する。
- ・防疫演習では、新たにアフリカ豚熱の発生を想定した実地演習を行い、対応マニュアルを検討する。
- ・令和5年度から登録飼養衛生管理者（農場従業員等）によるワクチン接種制度を施行した。登録飼養衛生管理者が適切に豚熱ワクチン接種を行い、抗体陽性率80%以上を維持する体制を継続する。

事業番号	09 04 08	細事業一覧（令和5年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	家畜衛生対策事業			部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	家畜衛生対策事業		136,081 千円	146,322 千円	121,831 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	家畜保健衛生所運営費	直接	家畜保健衛生所の適正な運営・管理を実施 県内5家保の運営		
2	家畜伝染病予防事業	直接	監視伝染病の検査及び農場立入検査を実施 6疾病の監視伝染病の検査及び643戸の農場立入検査を実施		
3	家畜衛生対策事業	直接	・特定家畜伝染病の発生を想定した防疫演習を実施 ・国・市町村と連携して埋却地確保を推進 防疫演習 2回実施		
4	豚熱対策事業	直接	・県内全域で飼養されている豚等へのワクチン定期接種及び免疫付与状況等確認検査を実施 ・野生いのしし感染確認検査による監視強化を実施 飼養豚へのワクチン接種を100%実施 年間946頭の野生いのしし検査を実施		